

札幌医科大学における三つのポリシー（方針）

改正 令和6年4月1日
※医学研究科抜粋

医学研究科の三つのポリシー（方針）

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

医学研究科では、所定の単位を修得後、論文審査に合格し、次に掲げる事項を修得したと認められる者に、学位を授与します。

〈博士課程〉

1. 独創性が高い医学研究を立案、遂行するための技術と知識
2. 医学研究者にふさわしい倫理観
3. 先端的な医学研究を指導できるリーダーシップ
4. 自らの研究成果を世界に発信できる能力

〈修士課程〉

1. 医科学に関する専門的な知識と基本的技術
2. 医科学研究にかかわる倫理観
3. 研究の方法論・思考過程を理解し、成果を的確に伝える能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

医学研究科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラム・ポリシーを基に教育課程を編成し、実施します。

〈博士課程〉

1. 医学研究遂行のための専門的知識、技術の習得と倫理観の涵養
2. 医学・医療に関連する問題解決能力とリーダーシップの醸成
3. 研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力の習得
4. 上記（1～3）の達成を目的として共通講義、主・副研究科目を配置

〈修士課程〉

1. 医科学に関連する一般的知識の修得
2. 医科学研究に必要な基本的知識、技術の習得と倫理観の涵養
3. 上記（1、2）の達成を目的として一般・専門教育科目、特別研究科目を配置

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

求める学生像

〈博士課程〉

医学研究科・博士課程では、将来、医学研究者となるべき人材として、次のような資質を持った人を求めます。

【知識・技能】

1. 知的好奇心、科学的探究心を持ち、高度な知識・技術の修得に励む人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

2. 創造性に富み、応用・発展への意欲を持つ人
- 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】**
3. 高い倫理観を備え、医学の分野で活躍する意思を持つ人
 4. 国際的な視野を持ち、社会や科学の問題にあたる気概のある人

<修士課程>

医学研究科・修士課程では、将来、高度の医学専門性を必要とする職業を担う人材として、次のような資質を持った人を求めます。

【知識・技能】

1. 知的好奇心、科学的探究心を持ち、医学的な知識・技能の修得に励む人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

2. 医科学の専門知識を体系的、集中的に学びとる意欲を持つ人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

3. 医科学に関連する様々な価値観を共有し、研究・教育・実務分野における貢献を志す人

入学までに学習しておくことが期待される内容

<博士課程>

- (1) 専攻科目に関連する基礎医学、社会医学、臨床医学などの基礎的知識
- (2) 専門性を高め、国際感覚を持って研究成果を発信するための語学力
- (3) 研究課題の立案と実施に求められる論理的な思考力
- (4) 研究結果を分析して意義づける判断力と表現力
- (5) 幅広い視野と高い倫理観を持って意欲的に医学研究に取り組む姿勢
- (6) 多様な研究者と協力しつつ、新たな分野を創造し開拓する姿勢

<修士課程>

- (1) 自然科学、生物学などの医科学の学修に必要な基礎的知識
- (2) 専門的な知識・技能を高めるための語学力
- (3) 課題の抽出や解決に求められる論理的な思考力
- (4) 情報を収集し分析する判断力と表現力
- (5) 課題の解決に向けて意欲的に取り組む姿勢
- (6) 学際的な展望を導くコミュニケーション能力

入学者選抜の基本方針

入学者に求める資質・能力について、下表に示す入学者選抜方法により評価・判定します。

※○及び◎は入学者選抜方法と学力の3要素との対応関係を示すものであり、配点の比重を示すものではありません。

<博士課程>

入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・ 表現力等の能力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
外国語試験	◎	○	
面接（口頭試問等含む） または筆記試験	◎	◎	◎
単位取得状況がわかる証明書	◎	○	
志望理由書	◎	◎	◎
研究計画書 ※ 該当する者のみ	◎	◎	
研究活動歴 ※ 該当する者のみ	◎	◎	○

<修士課程>

入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・ 表現力等の能力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
外国語試験	◎	○	
面接（口頭試問等含む） または筆記試験	◎	◎	◎
単位取得状況がわかる証明書	◎	○	
志望理由書	◎	◎	◎